

令和 4 年度学校評価における教職員アンケート結果(12 月)【概要】

12月に実施した「令和4年度学校評価における教職員アンケート」(以下、教職員アンケート)の結果がまとまりました。学校改善に向けて、本結果を有効に活用していきましょう。

1 教職員アンケート集計結果 4:している 3:どちらかといえばしている 2:あまりしていない 1:していない

(1) 学校経営理念・重点教育目標

質問事項	4	3	2	1
1 私は、学校経営理念(「子どもを育てる学校」から「子どもが育つ学校へ)の実現を常に目指し、当事者意識をもって各種実践や業務に取り組んでいる。	15.4%	84.6%	0.0%	0.0%
2 私は、重点教育目標(自分のよさに気付き、役立つ喜びを知り、未来社会で活躍できる子ども)の実現を常に意識し、日常の授業改善や学級経営等に取り組んでいる。	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%

(2) 授業改善等

質問事項	4	3	2	1
3 本校は、全教職員が参画し、各種調査等を活用した検証改善サイクルが確立している。	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%
4 私は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する日常の授業改善に努めている。	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%
5 私は、子ども自身が学習のPDCAサイクルを回せる家庭学習を進めている。	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%
6 私は、自身の授業力を高めるため積極的に校内研修に参加している。	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
7 私は、自身の授業力の向上を図ったり、課題を克服したりするために、個人研修(個人テーマの設定)に取り組んでいる。	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%

【今後の方向性】

与えられた学習ではなく、自分の必要感に応じて、自立的に学習内容を考えたり、学習を進めたりすることは、これからの未来社会で活躍するためにも必要な力です。学年の発達段階に応じて、子どもたち自身が計画、実行、改善、評価をしながら家庭学習の取り組みを進めていくことは大切です。具体的には、低学年は宿題の丸付けを自分でするなど「間違い直しの方法を学ぶ」、中学年は宿題から自学ノートに徐々に移行するなど「家庭学習の様々な方法を学ぶ」、高学年は「個々の課題や必要感に合わせて内容を選び、家庭学習を進める」など茶内小学校として、家庭学習の方法を段階的に進めたいと考えています。

(3) 学級経営の充実

質問事項	4	3	2	1
8 私は、学級において心理的安全性（学級目標の共有、認め合い、弱みの開示）が醸成されるよう取り組んでいる。	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%
9 私は、互いが適度に依存し合うこと（自律）を目指した学級間（通常学級・特別支援学級）の交流を進めている。	23.1%	46.2%	7.7%	23.1%
10 私は、学年を超えて互いが尊重し合うことを目指した縦割り活動を進めている。	23.1%	46.2%	30.8%	0.0%

【今後の方向性】

「互いが適度に依存し合うこと(自律)を目指した学級間(通常学級・特別支援学級)の交流」とは、具体的にどんな姿なのかを教職員間で共有する必要があります。今回、教職員でこのことについて話し合った際には、「自分でできることは自分でやる」その上で、「この子はできないから」ではなく、「クラスの友達として、困っている人がいたら、誰でも手伝う」と互いが思えるような関係が目指すべきところではないか、という意見が出ました。今後も子どもたちの関係性の中で自己理解(自分のことを理解する)と他者理解(相手のことを理解する)が進み、本校の教育目標である「思いやりのある子」が達成されるように学級づくりを進めていきます。

縦割り班活動は、茶内小学校の特色ある教育活動の一つです。今年度は、月に2回程度の学校の清掃活動、縦割り班でのわくわくタイムの遊びの企画と実行をしました。縦割り班活動をより充実させるためには、「定期的な活動時間の確保」が必要です。「月に1回ワクワクタイムでの遊びを行う」「総合的な学習の時間に多学年合同で行う学習を位置付ける」などの方法を検討していきます。

(4) 学校における働き方改革の推進

質問事項	4	3	2	1
11 本校は、独自のアクションプランが策定されている。	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
12 本校は、コアチームによる定期的な業務の見直しが進められている。	30.8%	53.8%	15.4%	0.0%
13 私は、働き方改革の趣旨を理解している。	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%
14 私は、自分と向き合う時間（子どもと向き合う時間を確保している）。	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%

(5) GIGA スクール構想の実現

質問事項	4	3	2	1
15 私は、ICT機器を活用した学校 DX（授業改善、業務改善、保護者等との情報の連携・共有）の実現を目指している。	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
16 本校は、ICT 推進教師（仮称）を中心としたICT 機器を効果的に活用できる力量を身に付ける研修が実施されている。	30.8%	38.5%	23.1%	7.7%

【今後の方向性】

I C T 機器の活用については、GIGA スクール構想により一人一台端末の整備が、ここ1、2年の間に一気に進みました。従来の授業方法に比べると、I C T 機器を活用した実践はまだまだ少ないのが実際で、現段階としては、実践例を積み上げている段階です。あくまでも授業方法、学習の仕方は、「I C T 機器ありき」ではありません。従来の授業方法に加えて、I C T 機器を活用するための研修を進めていく必要があります。その上で考えなくてはいけないのは、「研修時間の確保」です。それぞれの実践を気軽に共有できるような投稿 B O X の設置、毎回校内研修後3分間を使って実践の交流などを検討していきます。また今年度より校内に I C T コアチームを発足しました。I C T コアチームをより活用し、研修機会を計画的に設定していきたいと考えています。

(6) 校種間及び学校・家庭・地域の連携・協働

質問事項	4	3	2	1
17 本校は、「何のために」を明確にした幼稚園（保育所）、中学校と連携・協働した取り組みが進められている。	7.7%	69.2%	15.4%	7.7%
18 本校は、学校教育目標の実現と学校課題の解決に取り組む地域学校協働活動を中核とした地域とともにある学校づくりが進められている。	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
19 本校は、学校経営の改善充実を図る戦略的な学校評価が実施されている。	15.4%	84.6%	0.0%	0.0%

【今後の方向性】

保育所との連携については、これまでは、行事の見学や日常保育の参観に小学校から数名が行っていました。より連携を進め、学校での生活を少しでも知ってもらうために、保育所の先生方に学校の様子を見てもらったり、情報交換の場を設定したりすることを検討していきます。また、中学校との連携については、これまでは、中学校の先生による乗り入れ授業、年2回の小中合同研修会を行っています。さらに連携を進めるため、中学校での体験授業を増やしたり、中学校で1日過ごす日を設定したりするなど、中学校の様子を子どもたち自身が肌で感じられるような取組を検討していきます。

(7) 子どもたちの安全確保

質問事項	4	3	2	1
20 私は、新型コロナウイルス感染症対応を最優先した学びの環境づくりに努めている。	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%
21 私は、人を思いやったり、いじめに毅然と立ち向かったりする態度を育む道德教育等を進めている。	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%
22 本校は、いじめや災害等に対する危機意識の醸成を図る各マニュアル等の不断の見直しを行っている。	0.0%	69.2%	23.1%	7.7%

※肯定的な回答（4と3）が80%未満は網掛け

【今後の方向性】

いじめ、災害等の危機管理マニュアルは、毎年不断の見直しを行い、年度始めの職員会議の際に、全教職員で確認をしています。さらに危機意識の醸成を図るために、校内研修や分掌部会での見直しをする時間の設定、危機管理マニュアルを職員室内に掲示するなどの取組を検討していきます。